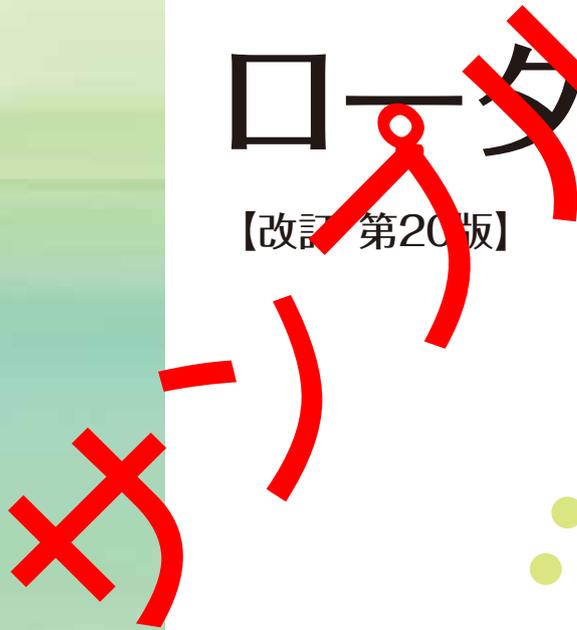


新会員オリエンテーション用

今日から ロータリアン

【改訂 第20版】



情報研究会

CONTENTS

1	ロータリーとは	1
2	ロータリアンとローターアクターとは	2
	ロータリーの組織	2
3	ロータリーの歴史	6
	国際ロータリーの歴史	6
	日本のロータリーの歴史	7
4	ロータリーの基本理念	8
	ロータリーの奉仕理念	8
	ロータリーの目的	9
	四つのテスト	10
	社会奉仕に関する1923年の声明	10
	社会奉仕に関する声明	11
	モットー	11
	ロータリアンの行動規範	11
	ロータリーの多様性、公平さ、インクルージョン：DEI	12
	五大奉仕部門	13
5	ロータリー戦略計画	14
6	ロータリアンの義務と特典	16
7	会員の種類と職業分類	17
8	クラブの組織	18
	クラブ委員会	19
9	クラブの運営	21
	クラブの主な会合	21
	親睦委員会	22
	クラブの奉仕活動	23
	ロータリー学友	24
	ローターアクトクラブ	24
	ニコニコ箱	24
	例会出席とメイクアップ	25
	クラブ運営の柔軟性と革新性	27
10	地区組織	29
	地区の会合	30
11	国際ロータリー	31
	国際ロータリーの主な会合	31
12	ロータリー財団	33
13	ロータリー米山記念奨学会	38
14	ロータリーの特別行事(月・週・日)	40



1

ロータリーとは (About Rotary)

私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指している。

1905年にシカゴで創設されたロータリーでは、110年以上、さまざまな職業をもつ人や市民のリーダーが「世界を変える行動人」となり、その経験と知識を生かして社会奉仕活動や人道的活動に取り組んできた。



識字率向上、平和構築、水と衛生の改善など、幅広い分野で持続可能な影響をもたらすために、ロータリーの会員は毎日、世界のどこかで活動している。

●ロータリーの活動

切迫した問題が山積みとなっているこの世界で、私たちは単なる傍観者ではなく、自ら行動する責任があると考えている。ロータリーは以下の分野に重点を置いて活動している。

- 平和の推進
- 疾病との闘い
- 水と衛生
- 母子の健康
- 教育の支援
- 地域社会の発展
- 環境の保護



ロータリーを知る方法

ロータリーを知るためには、いろいろな文献があるので、それを勉強することも必要だが、一朝一夕にはいかない。まずロータリーに慣れることが第一で、それには例会に出席することである。ロータリーの活動は全て例会から出発する。そして例会以外の会合、つまりフォーラムとか、情報集会とかロータリーを知るための勉強会のようなものがいろいろあるので、それらの会合に出席することである。そして毎月配布される公式地域雑誌（義務購読）「ロータリーの友」を読むこと、また「ロータリー文庫」で資料を入手することが大切である。また、できるだけ、ロータリーのウェブサイト (<http://www.rotary.org>) にもアクセスして情報収集しよう。

ロータリーのエッセンス

リーダーのネットワーク (Join Leaders) :

ロータリーは、世界のさまざまな国や職業のリーダーのネットワークである。

アイデアを広げる (Exchange Ideas) :

ロータリーは、多様な会員のアイデアや職業の専門知識を生かして、地域社会のニーズや問題に取り組んでいる。

行動する (Take Action) :

ロータリーは、世界中の地域社会を長期的に改善するために行動する。



2

ロータリアンとローターアクターとは

ロータリアンとローターアクターとは

ロータリークラブの正会員はロータリアン、名誉会員は名誉ロータリアンとして認められ、RIの徽章、バッジまたはその他の記章を着用する権利を与えられる。

また、ローターアクトクラブの正会員は、ローターアクターとして認められ、ローターアクトの徽章、バッジまたはその他の記章を着用する権利を与えられる。

(RI定款第12条 会員の称号と徽章)

クラブの正会員となるには……

会員の選出は、現会員の推薦により所定の手続きを経て、クラブ理事会の承認を得ることと決まる。

会員の資格条件 (Qualifications)

クラブは、善良さ、高潔さ、リーダーシップを身をもって示し、事業、専門職務、職業および/または地域社会でよい評判を受けており、地域社会および/または世界において奉仕する意欲のある成人。
(RI定款第4条 会員)



会員証 (Membership Cards)

ロータリークラブは、正会員に対して会員証を発行すべきである。クラブを訪問するロータリアンで、そのクラブに個人的に知られていないロータリアンは誰でも、自己紹介の手段としてロータリーの会員証を提示すべきである。

(2013年10月理事会会合、決定31号) (ロータリー章典4.050.)

各ロータリークラブおよびローターアクトクラブは国際ロータリーの会員 (構成員) である。

RIの会員 (membership) は、RI定款および細則に定められた義務をたゆまず遂行するクラブおよびローターアクトクラブをもって構成されるものとする。

ただし、ローターアクトクラブの構成は、理事会が定めるものとする。

(RI定款第4条 会員)

ロータリーの組織

ロータリーは、クラブ*、国際ロータリー、ロータリー財団の3本の柱で支えられている。これらが一体となって、世界中の地域社会に持続可能な変化を生み出している。

クラブ*：ロータリークラブおよびローターアクトクラブ

国際ロータリー (RI : Rotary International)

国際ロータリー (RI) は全世界のロータリークラブおよびローターアクトクラブの連合体である。

(RI定款第2条 連合体とその目的)

ロータリーという言葉をもっとだけ使う場合、通常、国際ロータリーとしての組織全体を指す。ロータリーは、クラブでの草の根の活動に加え、世界的なプログラムやキャンペーンも行っている。これらの取り組みをサポートするために、国際ロータリーが情報、資料、方針、リソースをクラブに提供している。

ロータリー財団 (TRF : The Rotary Foundation)

地元での社会奉仕活動からグローバルな取り組みまで、ロータリーの人道的プロジェクトへの補助金や奨学金、ポリオ根絶活動、災害支援等を提供している。

ロータリーのリーダー (Rotary Leaders)

RI会長 : (RI President)

1年任期で全世界のロータリーのリーダーとなる会員。

RI会長エレクト : (RI President-elect)

次年度に、1年任期で全世界のロータリーのリーダーとなる会員。

RI理事 : (RI Director)

2年任期でRI理事会メンバーとなる。地元ゾーンのクラブによって推薦され、すべてのクラブによって国際大会で選出される。理事は、ロータリーの運営面において全クラブを代表する会員。

管理委員 (Trustees) :

ロータリー財団管理委員会のメンバー。RI会長エレクトによって任命される。

シニアリーダー (Rotary Senior Leaders) :

現、元、次期のRI会長、RI理事およびロータリー財団管理委員。

事務総長 (General Secretary) :

RIおよびロータリー財団の最高経営責任者で、国際ロータリー世界本部と国際事務局の職員を統括する。また、理事会および管理委員会により、必要な場合に理事会および管理委員会に代わって決定を行う権限が与えられている。

地区ガバナー (DG) :

RIの役員となり、地区チームと協力して地区の管理運営を行う会員。地区の管理運営以外に、クラブの意欲を高め、研修を行い、各種リソースをクラブに紹介する。

地区ガバナーエレクト (DGE) :

次年度の地区ガバナーとして選出された会員。

地区ガバナーノミニー (DGN) :

2年後に地区ガバナーとなる会員。地区は、就任の24カ月前にガバナーとなる人を指名する必要がある。指名された人は、地区ガバナーノミニーとなり、就任の前年度に地区ガバナーエレクトとなる。

ガバナー補佐 (Assistant Governor) :

29ページ参照。



地区ロータリー財団委員長 (DRFC) :

財団に関する情報をクラブに提供し、財団プログラム・活動への支援を奨励する委員会の委員長。

地域リーダー (Regional Leaders) :

地域リーダーは、地区を通じて目標を達成するためのサポート、地元や海外で大きな成果をもたらすためのリソースを提供する。また、ロータリー研究会、ガバナーエレクト・ラーニング (GELS)、地域・ゾーンでのラーニングセミナー、地区ラーニング、その他の行事 (依頼された場合) でリーダーやファシリテーターを務める。地域リーダーは、RI会長またはロータリー財団管理委員長により3年任期で任命される (任命の見直しが毎年行われる)。

ロータリー財団地域コーディネーター (RRFC) :

RRFCは、ロータリアンが財団補助金による奉仕に積極的に参加し、寄付目標を達成できるよう支援を提供する。

ロータリーコーディネーター (RC) :

RCは、現会員の積極的参加と新会員の入会を促進し、元気なクラブづくりと会員増強目標を達成できるよう支援を提供する。

ロータリー公共イメージコーディネーター (RPIC) :

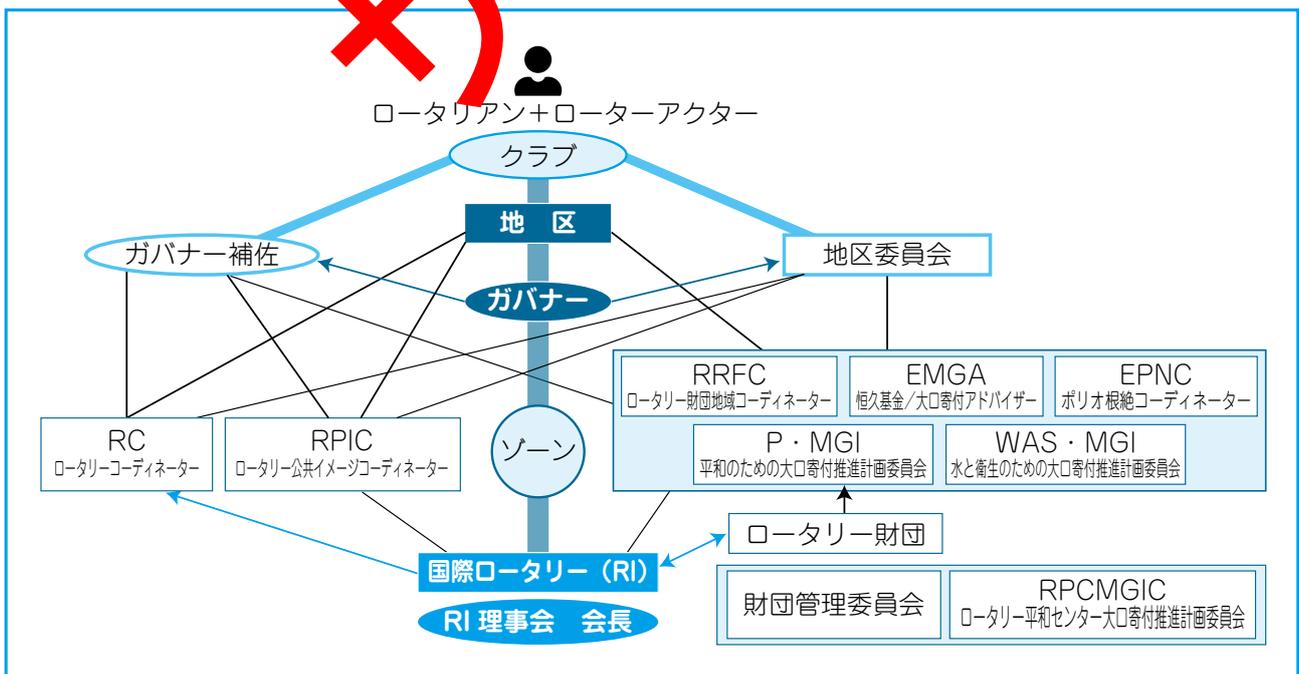
RPICは、ロータリアンが心に響く方法でロータリーのストーリーを伝えられるよう支援を行い、マーケティング、メディアとの連絡、ソーシャルメディアに関する指針を提供する。

恒久基金/大口寄付アドバイザー (EMGA) :

EMGAは、大口寄付と恒久基金への寄付を通じたファンレイジング (寄付推進) におけるロータリアンの参加を助長する。

ポリオ根絶コーディネーター (EPNC) :

EPNCは、ポリオ根絶の認定を実現するためにリーダーシップを発揮し、地区とクラブのレベルにおける認識向上、アドボカシー、寄付や募金活動を促進する。



ロータリーの創立と目的

20世紀初頭のシカゴの街は、著しい社会経済の発展の陰で、商業道德の欠如が目につくようになっていた。

ちょうどそのころ、青年弁護士“ポール・ハリス”はこの風潮に耐えかね、友人3人と語らって、お互いに信頼のできる公正な取引をし、仕事上の付き合いがそのまま親友関係にまで発展するような仲間を増やしたい、という趣旨でロータリークラブという会合を考えた。ロータリーとは集會を各自の事務所が持ち回りで順番に開くことから名付けられたものである。

こうして1905年2月23日にシカゴ・ロータリークラブが誕生した。それからは志を同じくするクラブが、次々各地に生まれ、国境を越えて、今では世界200以上の国と地域に広がり、クラブ数は37,001(10,612)、会員数は1,184,348(162,507)人に達している。

[2024年6月5日現在] ()内はローターアクトクラブのデータを示す。

(出典) 上記データはRI Club Centralより

そして、これら世界中のクラブの連合体を国際ロータリー(RI)と称する。

このように歴史的に見ても、ロータリーとは職業倫理を重んずる事業および専門職務に携わる人の集まりなのである。その組織が地球の隅々にまで拡大するにつれて、ロータリーは世界に眼を開いて、幅広い奉仕活動が求められるようになり、現在は多方向にわたって多大な貢献をしている。

年月

国際ロータリーの歴史

1905年	シカゴロータリークラブ創立
1906年	綱領とクラブ徽章として車輪のマークを採用
1910年	全米ロータリークラブ連合会を設立
1917年	ロータリー財団の先駆、ロータリー基金を設置
1922年	本部組織をRI (Rotary International) に変更
1943年	国際ロータリーが正式に「四つのテスト」を採択
1947年	ロータリー創始者ポールハリス死去
1950年	デトロイト大会において、「Service above self」[He profits most who serves best] が公式標語として採択される
1955年	RI創立50周年記念国際大会をシカゴで開催
1985年	ポリオ・プログラム開始
1989年	女性会員の認められる
2005年	ロータリー100周年国際大会 シカゴ
2009年	RIとビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団が共同でポリオ根絶に2億ドル投入
2010年	EクラブがRIより正式に認められる
2013年	ロータリー財団の「未来の夢計画」が全地区で実施 ロータリーの公式ロゴ(Visual Identity)が変更
2014年	ロータリーの特別月間を6つの重点分野を強調するものに変更(2015年7月より実施)
2016年	規定審議会結果、各クラブに柔軟性をあたえる(会員身分、例会がインターネットと従来型が可能、例会の頻度や取消、入会金、出席免除規定等が各クラブ細則で決められる)
2017年	ロータリー財団100周年
2019年	メイクアップを例会の前後2週間から、同年度内に変更。職業分類の制限を廃止。 RIはロータリークラブとローターアクトクラブの連合体となる。ローターアクトの年齢上限が廃止(施行は2020年度より)
2020年	国際大会(ホノルル)中止、バーチャル大会となる。COVID-19が蔓延する RI理事会をはじめオンライン会議が始まる
2021年	ジェニファー・ジョーンズ氏が初めての女性RI会長に決定(2022-23年度会長) 国際大会(台北市)バーチャル大会となる。
2022年	6月 DEIへの新しいコミットメントを発表。 4月 規定審議会開催(初のハイブリッド審議会、オンライン出席は175名) 6月 国際大会(米国ヒューストン)
2023年	10月 ロータリーアクト行動規範改正、国際大会(メルボルン)
2024年	5月 国際大会(シンガポール) ・クラブに3年間の目標設定を奨励 ・ロータリー賞の名称をクラブ優秀賞に変更



日本のロータリー

わが国最初のロータリークラブは1920年(大正9年)10月20日に創立された東京ロータリークラブで、翌1921年4月1日に世界で855番目のクラブとして、国際ロータリーに加盟が承認された。

日本でのロータリークラブ設立については、ポール・ハリスの片腕としてロータリーの組織をつくり、海外拡大に情熱的に取り組んだ、初代事務総長チェスリー・ペリーと、日本のロータリー創立の準備に奔走した米山梅吉、福島喜三次などの先達の功を忘れることができない。

その後、日本のロータリーは、第2次世界大戦の波に洗われ、1940年に国際ロータリーから脱退した。戦後1949年3月になって、再び復帰加盟するが、この時、復帰に尽力してくれたのが国際ロータリーの第3代事務総長ジョージ・ミーンズであった。その後の日本におけるロータリーの拡大発展は目覚ましいものがある。ロータリー財団への貢献も抜群で、今や国際ロータリーにおける日本の地位は不動のものとなった。

日本では、国際ロータリーの会長として、東ヶ崎潔^{とうが さききよし}氏、向笠廣次^{むかさひろじ}氏、田中作次^{たなかさくじ}氏の3名を輩出している。

日本全体でのクラブ数は2,206(295)、会員数は84,284(2,679)人となっている。

[2024年6月5日現在]

()内はローターアクトクラブのデータを示す。(出典)上記データはRI Club Centralより

年月

日本のロータリーの歴史

1920年	日本のロータリークラブ第1号、東京RCが誕生
1922年	大阪に日本第2番目のRCが誕生
1924年	東京RC、関東大震災義援金の一部で東京孤児院にロータリーホームを作る
1940年	大阪RCをはじめ、日本のRCは時局に鑑みRIを脱退
1949年	東京RCに続き、京都、大阪と、日本の7クラブ復活
1961年	東京国際大会を開催(参加74カ国、23,366人)
1962年	日本のRC数・会員数が、米英に次いで3位となる
1967年	(財)米山記念奨学会が設立
1968年	RI会長に東ヶ崎潔氏が就任(日本初)
1970年	大阪千里の平和会場で連日例会開催(家族を含め23,300人参加)
1982年	RI会長に向笠廣次氏が就任(日本で2人目)
1995年	阪神大震災発生、救援ボランティアの数は延べ130万人に
2004年	大阪ドーム等で関西初の第95回ロータリー国際大会。112カ国45,595人が登録
2011年	東日本大震災に世界のロータリーから沢山の支援金が届く 日本のEクラブが創立
2012年	RI会長に田中作次氏が就任(日本で3人目)
2013年	衛星クラブが規定審議会で採択される 広島で平和フォーラムが開催される
2016年	熊本地震が長引き震災への義援金募金がひろがる。救援ボランティア
2017年	地区、クラブ単位でロータリー財団100周年を祝うイベント、奉仕活動が開催される
2020年	COVID-19(新型コロナウイルス感染症)により、各種会合や例会中止や延期が増える 東京オリンピックが延期となる。全国的に各種行事が自粛となる。東京ロータリー創立100周年を迎える
2021年	COVID-19のパンデミック化が続き、国際大会をはじめオンライン会議が増える。 ロータリー日本100年史(8月発行)
2022年	規定審議会提案数: 94件(RI提案13件、日本からは26件、採択29件)
2023年	5月 新型コロナが2類から5類へ移行
2024年	ロータリーレートの円安傾向進む



私たちはロータリーの価値観と伝統をあらゆる基本理念にしたがって行動してきた。ロータリーの基本理念は、ロータリアン共通の目的や指針として、長い年月をかけて形づくられたものである。互いの関係や行動の土台として、世界中のロータリアンがこれらの理念を大切にしている。

ロータリーの奉仕理念 (The Ideal of Service)

元来ロータリーの奉仕理念は、高度な哲学や宗教から出発したものではなく、人間が本来生まれながらに心の奥に持っている目に見えない精神、他人に役立ちたいという心を発掘し、育てていくことである。これがロータリーの生命力であり、また原点である。

(第2580地区 佐藤千壽 PDG)



かつて公式名簿 (Official Directory) の最終ページに記載されていた Brief History of Rotary には、奉仕の理念 (奉仕の理想) とは、「他人のことを思い遣り、他人のために尽くす」“thoughtfulness of and helpfulness to others” という説明がつけられていた。

ポールハリスはその著書の中で、ロータリーの「奉仕の理念」について、『ロータリーの概念する奉仕の理念とは、ものの過程の最初に奉仕を置くものである。最も愚かな方法は金銭に集中することである』と述べ、さらに『有史以来、偉人中の偉人たちが、その言葉や態度で示したものは、「奉仕第一、自己第二」“Service above Self.” という、まさにロータリーが要約した教義 (スローガン) を忠実に守ることであった』と説明している。

「ロータリーは、基本的には、一つの人生哲学であり、それは利己的な欲求と義務およびこれに伴う他人のために奉仕したいという感情とのあいだに常に存在する矛盾を和らげようとするものである。この哲学は奉仕—Service above self—の哲学であり、He profits most who serves best という実践的な倫理原則に基づくものである。」

決議23-34

ロータリーでは奉仕理念の意味について様々な表現が行われた。

- ◆ 『超我の奉仕』
- ◆ 『最も良く奉仕する者、最も多く報いられる』
- ◆ 『他者に対する思いやり』
- ◆ 『自分にして欲しいことを何よりも先ず他者に与えること』

などがある。奉仕理念の解釈は意図的にロータリアン各自およびロータリアンのグループに任されている。

(出典：目標設定プラン パンフレット No.3)

ロータリーの目的 (The Object of Rotary)

「ロータリーの目的」(The Object of Rotary) は、ロータリーが何を目的としている組織かという組織の根幹にかかわる基本的ドキュメントであり、かつ新会員が入会する時、必ずこれを受諾することが求められる重要な事項となっている。

「ロータリーの目的」は本文と4つの付帯事項からなり、その4つの説明的文章は等しく重要な意味を持ち、また同時に行動を起こさなければならないものであるとされている。

(RI 定款第3条、標準ロータリークラブ定款第5条 目的)

ロータリー運動の目的は、価値ある企業活動の基本としての奉仕理念を奨励し、育成することであり、そのあとの付帯事項も含めて、ロータリーの目的は、「奉仕の理念」(The Ideal of Service) を生活全般へ適用することにある。



ロータリーの目的は、

奉仕の理念を

1. 個人生活
2. 事業・専門職
3. 地域社会
4. 国際社会

において奨励・育成する

ロータリーの目的 (The Object of Rotary)

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：

1. 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
2. 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；
3. ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を实践すること；
4. 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

(RI定款第3条、標準ロータリークラブ定款第5条 目的)



ロータリークラブの目的 (Purposes) は、P13を参照のこと。

四つのテスト (The Four-Way Test)

ロータリアンが生活や仕事の場面で常に覚えておくべき4つの問い、それが「四つのテスト」である。政治や宗教に関係なく、すべての人びとの倫理的指針となるこのテストは、100カ国語以上に翻訳されている。



四つのテスト 言行はこれに照らしてから

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか

THE FOUR-WAY TEST of the things we think, say or do

1. Is it the TRUTH ?
2. Is it FAIR to all concerned ?
3. Will it build GOODWILL
and BETTER FRIENDSHIPS ?
4. Will it be BENEFICIAL to all
concerned ?

事業および専門職務に携わるロータリアンの心構えとして、価値ある目標を追い求めるための指針である。さらに、広く一般に、多くの人の倫理的な羅針盤を提供することとして、簡潔かつ的確にまとめたものが「四つのテスト」である。

シカゴ RC の会員で、1954-55 年度に RI 会長を務めたハーバート J・テラーが、1932 年の恐慌のとき、倒産に瀕していた調整器具メーカーの再建を要請され社長に就任し、正しい営業活動を行えば必ず会社再建できると考え、「四つのテスト」を示した。同社の業績は改善を続け、5 年後には借金は完済、10 年後には株主に多額の配当金を分配するまでになった。

「四つのテスト」は商取引をする当事者同士の極めて現実的な基準だったということである。

1943 年の RI 理事会の認証のもとに職業奉仕のプログラムに組み込まれ、五大奉仕において極めて重要な要素であると考えられた。

1954 年、彼が RI 会長に就任したとき、その版權をロータリーに委譲し、四つのテストは世界各国の言葉で翻訳され、広く活用されている。

社会奉仕に関する1923年の声明 (1923 Statement on Community Service)

決議 23-34 はロータリーにとって、大変大切な文書となっている。その理由は、決議 23-34 は、ロータリーの目的に基づくすべての実践活動に対する指針であると同時に、ロータリーの2つのモットーをロータリー哲学として確定したドキュメントであるからである。

また、一般的に決議 23-34 と言われているのは、これが1923年に開催されたセントルイス国際大会に提出された第34号決議案だからである。

現在では、この声明はその歴史的価値から手続要覧に記載されているが、その第一項「ロータリーは、基本的には、一つの人生哲学であり、それは利己的な欲求と義務およびこれに伴う他人のために奉仕したいという感情とのあいだに常に存在する矛盾を和らげようとするものである。この哲学は奉仕—「超我の奉仕」の哲学であり、これは、「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」*という実践的な倫理原則に基づくものである」は、ロータリーの奉仕理念を定義する唯一の公式文書と言われている。

*採択された審議会決議案 10-165 により、RI の第二の標語は「One Profits Most Who Serves Best.」に改訂された（邦訳に変更はない）。

社会奉仕に関する声明 (Statement on Community Service)

1992 年、規定審議会はロータリアンの指針として、また、社会奉仕活動に対するロータリーの方針を明確に表すために、社会奉仕の声明を採択した。

ロータリーの目的は、ロータリアン一人ひとりの個人生活、~~職業~~生活、社会生活に奉仕の理念を適用することを奨励、育成することである。この奉仕の理念の適用を実行するために、各ロータリークラブは多彩な社会奉仕活動を開発して、会員に奉仕活動の輝かしい機会を与えてきた。社会奉仕は、ロータリアン一人ひとりが「超我の奉仕」を実証する機会である。地域に住む人々の生活の質を高め、公共のために奉仕することは、すべてのロータリアン個人にとっても、またロータリークラブにとっても献身に値することであり、社会的責務でもある。

(ロータリー章典 8.040.2.)



モットー (Mottos)

「超我の奉仕」
「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」

(ロータリー章典 34.080.)



ロータリアンの行動規範 (Rotarian Code of Conduct)

すべての会員（ロータリアンおよびローターアクター）は、以下のことを行うことが期待される：

- 1) 箇人として、または事業において、高潔性、および高い倫理基準をもって行動する。
- 2) 人には公正に努め、尊敬の念をもって接する。これには、敬意を払った言葉使い、協力的で歓迎するというインクルーシブな環境を醸成し、多様性を称賛することにより、ロータリーの多様性、公平性、インクルージョンの行動規範を順守することが含まれる。
- 3) 職業スキルを生かして、地域社会や世界中の人びとの生活の質を高める。
- 4) ロータリーまたは他のロータリアンの評判を落とすような言動は避ける。
- 5) ロータリーに関連するいかなる行事においてもすべてロータリアンの行動規範を順守する。

(2023 年 4 月理事会会合、決定 114 号により改正、ロータリー章典 8.030.2.)

ロータリーの多様性 (Diversity)、公平さ (Equity)、インクルージョン (Inclusion) : DEI

ロータリーが、多様で、公平で、インクルーシブな組織となることを望み、またそうあるべきであると考えている。これらにより、会員の体験がより充実したものとなり、より有意義で効果的な奉仕プロジェクトの実施が可能となる。ロータリーに参加したいと望む人たちにとって魅力のある開放的・歓迎的な環境を築くことにつながる。

■ ロータリーの「多様性、公平さ、インクルージョン」へのコミットメント声明

2021年6月、2019年に採択した「多様性、公平さ、インクルージョンに関するロータリーのコミットメントの声明」をさらに強化した。

ロータリーで私たちは、持続可能な良い変化を生むために人びとが手を取り合って行動する世界というビジョンの実現には、多様性があり、公平で、インクルーシブな文化を培うことが不可欠であると理解している。

1) 多様性 (Diversity)

すべての背景、年齢、民族、人種、肌の色、障害、学習スタイル、宗教、信条、社会経済的立場、文化、婚姻状況、使用言語、性別、性的指向、ジェンダー自認だけでなく、異なるアイデア、考え、価値観、信念を持つ人びとによる貢献を大切にする。

2) 公平さ (Equity)

地域社会でのパートナーシップも含め、ロータリーのおあらゆる側面で公平さを促進する。

3) インクルージョン (Inclusion)

すべての人が目に見える、または目に見えない本質的に独自の資質を備えている。自分が大切にされているとすべての人が感じ、帰属意識を持てるようなインクルーシブな文化を築くことに尽力する。

(2021年6月理事会会合、決定第184号)

■ DEIの行動規範

本行動規範はロータリーの中核的価値観を反映したものであり、ロータリアンおよびローターアクターであることに伴う責任を説明したものである。表現の自由は大切であるが、私たちの言動には重大な責任が伴う。誰にとっても協力的で、前向きで、健全な環境を会員が築き、維持するのを支える枠組みとなるものである。

- 他者を尊重する言葉を使う
- サポートを示す
- 温かく迎えるインクルーシブな環境を助長する
- 多様性を重んじる

なお、DEIの行動規範に関する質問や懸念、または行動規範に反する行為があったと感じた場合、Eメールで連絡する (dei.inquiries@rotary.org)。

(2021年6月理事会会合、決定第184号)

五大奉仕部門 (Five Avenues of Service)

ロータリー活動の基本は、優秀な職業人であるロータリアンが例会に出席してロータリーの哲学である奉仕の心を学び、それを通して親睦を深め、それによってさらに、奉仕の心を深め、充実させていくところにある。例会出席によって形成された奉仕の心はロータリアン個人がそれぞれの家庭、地域社会、国際社会で実践に移すことになる。

1927年、ベルギーのオステンドで開かれた国際大会で、奉仕部門を四大奉仕すなわち、クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕（現在は青少年を加えて五大奉仕）に分けることが決定され、それまでロータリークラブの基本理念として一般奉仕概念と呼ばれていたものに職業奉仕という呼び名が正式に与えられた。その後のロータリーの奉仕活動は、これらの五大奉仕部門を中心に行なわれることとなった。

ロータリーの五大奉仕部門は、本ロータリークラブの活動の哲学的小よび实际的な規準である。

1. 奉仕の第一部門である**クラブ奉仕**は、本クラブの機能を充実させるために、クラブ内で会員が取るべき行動に関わるものである。
2. 奉仕の第二部門である**職業奉仕**は、事業および専門職務の道德的水準を高め、品位ある業務はすべて尊重されるべきであるという認識を深め、あらゆる職業に携わる中で奉仕の理念を実践していくという目的を持つものである。会員の役割には、ロータリーの理念に従って自分自身を律し、事業を行うこと、そして自己の職業上の手腕を社会の問題やニーズに役立てるために、クラブが開発したプロジェクトに志えることが含まれる。
3. 奉仕の第三部門である**社会奉仕**は、地域社会における積極的平和を目指すことにより、クラブの所在地域または行政区域内に居住する人々の生活の質を高めるために、時には他と協力しながら、会員が行うさまざまな取り組みから成るものである。
4. 奉仕の第四部門である**国際奉仕**は、書物などを読むことや通信を通じて、さらには、他国の人々を助けることを目的としたクラブのあらゆる活動やプロジェクトに協力することを通じて、他国の人々の文化や慣習、功績、願い、問題に対する認識を培うことによって、国際理解、親善、積極的平和を推進するために、会員が行う活動から成るものである。
5. 奉仕の第五部門である**青少年奉仕**は、指導力養成活動、社会奉仕プロジェクトおよび国際奉仕プロジェクトへの参加、積極的世界平和と異文化の理解を深め育む交換プログラムを通じて、青少年ならびに若者によって、好ましい変化がもたらされることを認識するものである。

(標準ロータリークラブ定款第6条 五大奉仕)

●クラブの目的 (Purposes of Rotary Club)

ロータリーの目的に関連してロータリークラブの目的は、次の通りである。

- (a) 「ロータリーの目的」の達成を目指すこと
- (b) 五大奉仕部門に基づいて成果あふれる奉仕プロジェクトを実施すること
- (c) 会員増強を通じてロータリーの発展に寄与すること
- (d) ロータリー財団を支援すること
- (e) クラブレベルを超えたリーダーを育成すること

(標準ロータリークラブ定款第3条 クラブの目的)

(Rotary Strategic Plan)

2002-03年度、国際ロータリーは奉仕の第2世紀を迎え、組織を導く長期的な計画の立案を始めた。以来この戦略計画は定期的に見直され、更新されている。

2009年、理事会は、RI戦略計画の大幅な見直しを行い、それ以降も更新されている。

ロータリーがこれからもダイナミックな組織であり続け、世界中の地域社会に貢献していくための将来への指針となるのが、ロータリー戦略計画である。



ビジョン声明 (Vision Statement)

私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指している。(2020年手続要覧 2. ロータリーの戦略計画)

私たちの使命 (Our Mission)

国際ロータリーは、職業人と地域社会のリーダーのネットワークを通じて、人びとに奉仕し、高潔さを奨励し、世界理解、親善、平和を推進する。(ロータリー章典 26.010.1.)

中核的価値観 (Core Values)

私たちの価値観は、組織の考え方と方向性を定める原動力であり、戦略計画においても重視される要素である。

理事会は、国際ロータリーの戦略計画の一環として、奉仕 (Service)、親睦 (Fellowship)、多様性 (Diversity)、高潔性 (Integrity)、リーダーシップ (Leadership) という中核的価値観を採択した。(2010年11月理事会決定38号、ロータリー章典 26.010.2..)

戦略的優先事項

国際ロータリーおよびロータリー財団のビジョンを実現するために次の四つの優先事項を定めた。

- より大きなインパクトをもたらす
- 参加者の基盤を広げる
- 参加者の積極的なかわりを促す
- 適応力を高める

(ロータリー章典 26.010.3.)

(戦略的優先事項は、P15の行動計画を参照)

行動計画 (Action Plan)

一世紀以上前、私たちは、人と人とのつながりを礎とする奉仕のリーダーシップというモデルの先駆けとなった。そのモデルは、今日も強さを保ち続けている。一世紀前と違うのは、人と人とのつながりがグローバルに広がったことである。今日のロータリーは、地域社会のニーズに応えるために手を差し伸べるだけでなく、国境、世代、言語、文化、歴史的な違いを超えて、よりよい世界への希望を生み出している。

私たちは、ロータリーの今後の100年を思い描き、四つの優先事項を柱とする今後5年間の行動計画を2019年に立てた。

より大きなインパクトをもたらす (Increase Impact)

ロータリーは、人びとの生活をより良くするための変化をもたらそうと努力している。ロータリー会員は、幅広い奉仕活動でボランティアとなり、資金リソースを捧げているが、~~今後は活動の結果と成果をより効果的に図っていく。~~ロータリーは、プログラムに力を注ぎ、~~持続的~~影響を~~実証~~することによって、入会者、協力団体、寄付者にとって魅力ある団体であり続けることができる。

参加者の基盤を広げる (Expand Our Reach)

人びとは、世界に変化をもたらす、人間関係を築く方法を求めている。私たちは、人びとが求めていることをロータリーで見つけられるよう、どのように助けられるか。その答えは、より多くの人や組織が参加できるユニークな機会を創り出すことである。クラブは、今後も常に大切である。その一方で、全世界に会員基盤を広げるために、より多くの参加者をロータリーに迎え入れる画期的なモデルをもって現在の構造を拡大し、一体となって行動できる意義のある方法を提供していく。

参加者の積極的な参加を促す (Enhance Participant Engagement)

今日の変わりゆく世界でクラブが直面している課題を認識し、ロータリーは、会員の参加と維持を促すような経験をクラブが提供できるよう支援する。会員に経験と価値を提供できるようクラブを支援することで、ともに奉仕し、人間関係を広げ、より満足のいく経験をロータリーで得られる機会を、ロータリアンや他の参加者に提供することができる。

適応力を高める (Increase Our Ability To Adapt)

ロータリーのビジョンを達成し、変わりゆく世界の傾向に追いつくため、構造と文化を進化させなければならない。

私たちは、すべての参加者を効率よく、柔軟に、効果的に支援できるような運営とガバナンスの構造を築く。

(注) ロータリーの行動計画に関するツールキット等の情報は、ロータリーのウェブサイトを参照のこと。

<https://my.rotary.org/ja/who-we-are/about-rotary/action-plan>

6

ロータリアンの義務と特典

2016年規定審議会の結果、クラブの柔軟性ということで、各クラブ細則により規定するものがあるので、各クラブ細則に従うこと。

会員の義務については、標準ロータリークラブ定款第15条でロータリー雑誌の購読義務、そして第16条に厳しく明記している。「会員は、会費を支払うことによって、ロータリーの目的の中に示されたロータリーの原則を受諾し、本クラブの定款・細則に従い、その規定を順守し、これに拘束されることを受諾するものとする」そして更に「そしてこれらの条件の下においてのみ、会員は、本クラブの特典を受けすることができる」とあるが、特典については詳しく記していない。

ロータリーは特典を得るための義務履行ではなく「奉仕理念」を学び、それを実践していく人を育てることである。しいて言うならば、有形のものではなく、人生哲学的なものと言える。

義務

1. RI定款・細則並びにRC定款・細則を順守すること。
2. 会費を納入すること。
3. 例会に出席することおよび奉仕活動に参加すること。
4. 新会員を推薦すること。
5. 委員会活動、その他ロータリー・プログラムに参加すること。
6. 雑誌「Rotary」または「ロータリーの友」を購読すること。
(インターネットを通じての電子版も可)

特典

1. RCの会員には本人が希望してもなれない。会員により推薦され、選挙されて初めて会員となる。
2. 全世界に品性高潔な約140万人(ローターアクターを含む)の友人を得ること。
3. 全世界のRC例会、ロータリー会合に参加できること。
4. 奉仕活動に参加できること。
5. ロータリアンとしての絶大な信用を得ること。
6. ロータリアンとして、適格な人を推薦することができること。

会員身分の終結

- ① 会費を納入しないとき
- ② 連続4回、クラブの例会を欠席し、メイクアップも行わない場合
- ③ 半年間にメイクアップを含むクラブ例会または衛星クラブ例会の出席率が少なくとも50%に達していないか、クラブのプロジェクトおよびその他の行事や活動に少なくとも12時間参加していない場合
- ④ 半年間に所属するクラブの例会に30%出席していない場合

(標準ロータリークラブ定款第13条 会員身分の存続 第2～5節)

※②③④についてはクラブ細則で本規定の例外を設けることができる。



会員の種類 (Kinds)



1. 正会員 (Active Membership)

ロータリークラブの正会員。一つの職業分類に属し、会員として選出された人で、RI定款・細則に定められている会員としてのすべての義務と責務を遂行し、会員が得られるすべての恩恵を受けることができる。クラブ細則を修正することにより、クラブは、地元のニーズに応じて新しい会員種類を追加できる（例：準会員、法人会員、家族会員など）。なお、正会員は、どのクラブに対してでも新会員を推薦することができる。

(標準ロータリークラブ定款第8条 第3節 正会員)

2. 名誉会員 (Honorary Membership)

クラブは、理事会が決定した存続期間で名誉会員を選ぶことができる。ただし、名誉会員は以下の資格を満たすものとする。

- (a) 会費の納入を免除される
- (b) 投票権を持たない
- (c) クラブのいかなる役職にも就かない
- (d) 職業分類を保持しない
- (e) 本クラブのあらゆる会合に出席することができ、その他クラブのあらゆる特典を享受することができるが、他のクラブにおいてはいかなる権利または特典も持たないものとする。ただし、ロータリアンの来賓としてではなく訪問することはできる。

(標準ロータリークラブ定款第8条 第6節 名誉会員)

職業分類 (Classifications)

ロータリーでは、会員の職業または専門分野を「職業分類」と呼んでいる。クラブにさまざまな分野や業界の会員がいれば、多様な才能を結集して地域で幅広い活動ができるだけでなく、異業種のネットワークも広がる。また、以前はなかったような新しいタイプの職業にも目を向け、クラブに新しい視点や考え方を取り入れることも大切である。職業の種類と用語は国や地域によって異なるため、現在、国際ロータリーでは正式な職業分類リストを作成していない。

クラブは、職業分類の慣行を慎重に検討し、現在の事業や専門職、および社会奉仕活動の環境に合わせるために必要であれば、職業分類を大きく解釈する。(ロータリー章典4.030.) 何らかの団体に所属して、地域社会の奉仕活動に従事されているのであればその活動が職業分類となり得る可能性もあるし、もし、そのような活動に従事されていない場合は、専業主婦（夫）（“Stay-at-home activity”あるいは“Family Business”）のような分類も容認される。

2019年にはクラブの会員数に応じて同業者数の制限も廃止され、創立当時の「一人一業種制」はなくなり、現在は多様な会員の発掘や地域社会に合った会員勧誘として「職業分類」だけが残っている。

(標準ロータリークラブ定款第9条 クラブの会員構成 第1、2節)

8

クラブの組織 (Club Organization)

会 長 (President)

クラブを代表すると同時にクラブ運営の責任者。会長は就任の18カ月以上2年前までに会長として年次総会において選出される。前年度に会長エレクトになる。

幹 事 (Secretary)

文字通りクラブの『幹』としてクラブ管理の実務的事項をすべてとりまとめる。

会 計 (Treasurer)

理事会の意向を受けて幹事とともに予算・決算の実務を行う。

会場監督 (SAA : Sergeant-at-arms)

SAAは武装軍曹の意。例会場における最高の権限を持つ役員として、例会場の気品と風紀を守るだけでなく、例会場を設営し管理するという大任である。

◆クラブ役員 (Club Officer)

会長、直前会長、会長エレクト、幹事、会計として1名または数名の副会長を役員に含めることができ、これら全員が理事会メンバーとなる。また、会場監督も役員であるが、クラブの細則で、理事会のメンバーとすることができる。

◆クラブ理事 (Club Director)

理事会は、クラブの意思決定機関であり、クラブの役員で構成される。理事会は、少なくとも月1回会合を開く。各クラブは、会長、会長エレクト、幹事を選び、これらはすべて理事会のメンバーとなり、直前会長も理事会のメンバーとなる。副会長が選ばれた場合には、副会長も理事会のメンバーとなる。このほか、クラブ役員には会計、会場監督、そのほかの会員も含めることができ、これらの役員は、クラブ細則の定めに従って、理事会メンバーとすることができる。

◆クラブ理事会 (Club Board)

理事会メンバーは選挙されたクラブの理事と役員にて構成される。また、理事会の会合は少なくとも月1回開くことを期待されている。クラブのあらゆる事項に関する理事会の決定は最終的なものであって、クラブに対して提訴する以外にはこれを覆す余地はない。しかしながら、会員身分の終結の決定に関しては、会員は標準ロータリークラブ定款第13条(会員身分の存続)第6節の規定に従って、クラブに提訴するか、調停または仲裁に訴えることができる。理事会は全役員および全委員会に対して総括的管理権を持つものとし、正当な理由がある場合は、そのいずれも委員長を罷免することができる。

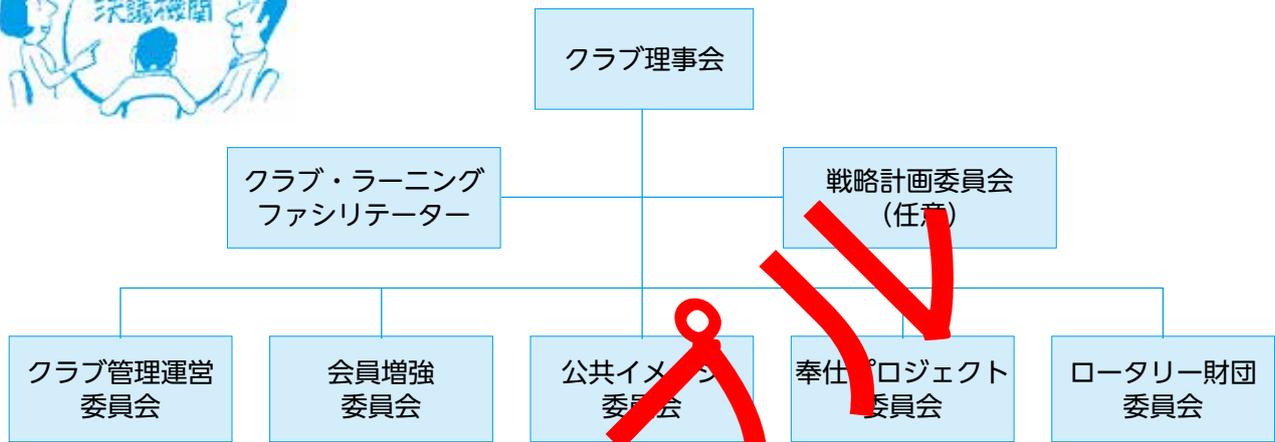
クラブ委員会 (Club Committees)

クラブの各種委員会は、クラブの年次目標と長期目標を実行する責務を担う。会長エレクト、会長、直前会長が協力し、指導の一貫性と計画の継続性を図るべきである。継続性を図るため、可能であれば、委員会委員は3年を任期として任命されるべきである。



クラブリーダーシップ・プランの委員会構成

例：標準的なクラブ



クラブ・ラーニングファシリテーター (Club Learning Facilitator)

会員の学習意欲を促進し、自発的に「学びたい」と思うように支援する役割を担う。

クラブ管理運営委員会 (Administration)

クラブの効果的な運営に関する活動を実施する。クラブ幹事は、この委員会の委員にもなる。

小委員会 ……出席、親睦活動、プログラム、ニコニコ など

会員増強委員会 (Membership)

クラブ会員の勧誘と退会防止の計画を立案、実施する。

小委員会 ……会員増強、会員選考、職業分類、ロータリー情報 など

公共イメージ委員会 (Public Image)

ロータリーに関する情報を一般の人々に提供し、クラブの奉仕プロジェクトや活動を広報するための計画を立案、実行する。

小委員会 ……雑誌、クラブ会報、IT など

奉仕プロジェクト委員会 (Service Projects)

地元社会や他国の地域社会のニーズを取り上げた教育的、人道的、職業的プロジェクトを立案、実行する。

小委員会 ……職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕、インターアクト、ローターアクト、青少年交換、ロータリーボランティア、共同奉仕 など

ロータリー財団委員会 (The Rotary Foundation)

財政的寄付と財団の様々なプログラムへの参加の両面から、ロータリー財団を支援するための計画を立案、実施する。

小委員会 ……財団プログラム、財団寄付 など

上記の常任委員会以外の委員会は、クラブの規模および目標に応じて、特別 (ad-hoc) 委員会を任命することができる。

(特別なプロジェクトや、クラブが古くから行っている活動を反映した委員会、たとえば、米山記念奨学委員会)

また、地区との関係で言えば、クラブ委員会はガバナー補佐および関係地区委員会と協力をする必要がある。さらに、クラブは必要に応じて常任委員会のもとに小委員会を設置することも可能である。

「My ROTARY」を使いこなす

Rotary.org から My ROTARY (https://my.rotary.org/ja/) にログインすると、最新のレポートや情報、ロータリーの活動を手続きをインターネット上で簡単かつ効率的に行える) ただし、ログインするには、まずアカウント登録をすることが必要である。

「My ROTARY」には、以下のようないろんなものが入手できる。

- ・登録済の会員氏名、所属クラブ名 (例会情報含む)、地区およびゾーンが表示される。
- ・ロータリークラブ・セントラル (クラブの目標を設定し、その進捗度を確認、クラブ、地区、ゾーンのクラブ数、会員数、男女割合などのレポートが入手できる。)
- ・補助金センター (ロータリー財団補助金の申請や管理が行える)
- ・会員・財団に関するレポート (会員の寄付や認証などに関するデータをレポートから入手)
- ・ブランドリソースセンター (地域社会でのロータリーの推進に必要なリソースを入手)
- ・ラーニングセンター (特定の役割や関心に沿ってオンラインで学習コースや資料が利用できる)
- ・ロータリーショーケース (世界各地で成功したプロジェクトを閲覧できる)
- ・ニュースと情報 (最新の情報、ロータリー年間予定表、お知らせを閲覧できる)
- ・その他、ロータリーへの参加方法やロータリー財団へリンクされている。

(参照) My ROTARYのアカウント登録方法：

<https://www.rotary.org/myrotary/ja/document/158736>



クラブの主な会合

クラブ例会 (Regular Meetings)

例会は、細則に定められた日および時間に、定期の会合を開かなければならない。この会合は、直接顔を合わせての例会とオンライン例会の組み合わせなどは自由である。

また、クラブによっては、細則の定めで、例会を最低月2回以上とすることができ、例会のスタイルも様々な形をとることができる。なお、ローターアクターもロータリークラブやロータリークラブの衛星クラブの例会に出席できる。

クラブ理事会 (Club Board Meetings)

毎月一回定例理事会が開催される。理事会はクラブ運営上の最終の決定権と責任をもっている。理事会の議事録は、開催後30日以内に全会員が入手できるようにする。

クラブ年次総会 (Club Annual Meeting)

クラブ細則に基づき毎年12月31日までに年次総会が開催され、役員選挙が行われる。また、現年度の収入と支出を含む中間報告および前年度の財務報告を発表する。

ガバナー公式訪問 (Official Visit Club Meeting)

各クラブがその所属しているRI役員であるガバナーが公式に接触する年一回の大切な機会である。地区ガバナーはその年度のRIテーマを解説するとともに実施についてロータリアンの意欲を喚起させる。また、クラブの実情や問題点について率直に討議し、指導をする。

クラブ協議会 (Club Assemblies) (クラブアッセンブリー)

クラブのプログラムと活動もしくは会員教育について協議するために開かれる、クラブ役員、理事、委員会委員長を含むクラブ会員全員の会合。

クラブ討論会 (Club Forums) (クラブフォーラム)

奉仕理念、クラブ管理運営、委員会活動などの問題点について自由な意見を述べ合う討論会。

家庭集会・情報集会 (Informal Meetings)

会員宅などを持ち回りして、少人数で開く非公式な懇談会であり、アットホームな雰囲気から公式な会合では言いだせない初歩的な質問なども気安くきりだせる会合。主に、ロータリー情報伝達を目的に行われるものが情報集会となる。

親睦委員会

新会員は、親睦委員会に所属することが多いようだ。それは、ロータリー発足の原点でもある、早く多くの人と知り合いになって親睦を深めるようにとの配慮からである。

親睦委員の任務については、下記の通りであるが、新会員はまず例会時間より早めに会場に来て、親睦委員長や古参の親睦委員と共に例会場の受付で、来訪者や会員を笑顔で迎えることから始めよう。



そうすることによって、クラブ会員との親睦や未知の他のクラブ会員との友好が次第に深まるだろう。

親睦活動の分野は大別して、4つの対象に分けられる。

つまり、1. 会員相互 2. 来訪者 3. 他クラブ 4. 家族 に対する親睦活動がある。それぞれを簡単に説明する。

1. 会員相互

例会場においては、会員は職業分類において平等であるという点を生かすよう、座席の配置に注意する。

例会場内外での親睦活動として趣味の会、スポーツ、旅行などを行うことによって、親睦が更に深まる。

最も効果的な親睦は「一緒に仕事（奉仕活動）をすること」である。

2. 来訪者

クラブ来訪者が良い印象をもつような接待をすることが大切である。

閉会の点鐘まで来訪者に友情を示そう。

3. 他クラブ

近隣クラブなど他クラブとのゴルフや花見会などの交流を深めることにより交際範囲が広がり、いろいろ刺激を受けてロータリーの楽しさが増加する。

4. 家族

家族を交えて親睦会等に参加することは大きな親睦効果を上げることになる。更に、家族にロータリー奉仕活動などを紹介し、ロータリーファンになっていただくことも大切である。



クラブの奉仕活動

地域社会のために

クラブ会員の専門分野を生かし、それぞれの地域の特色やニーズに合わせた、多岐にわたる独自の活動を展開している。

主な活動として、環境保全に配慮して山や公園に植樹をしたり、環境保全に対する講演会などを通じて地域社会に啓蒙運動を行ったり、人道的な奉仕活動として、チャリティーコンサートや養護施設や老人施設への訪問支援を行っているクラブもある。さらに、会員の専門職業による「無料相談」などさまざまな企画や中学生や高校生に対する職業指導や出前講座、インターンシップなどの活動を行っているクラブもある。



世界のために

日本では、海外への支援としては、タイ、フィリピン、ネパールなどアジアの人たちへの活動が多いが、もちろん、世界各地の人々へも目を差し向けている。

たとえば、安全な飲み水を確保できない人たちのために井戸を掘ったり、浄水施設を設置したり、識字率向上のために学校を建設したり、教科書、文房具、机、椅子などを送っているクラブもある。さらに、ポリオワクチンの接種活動や歯科検診、白内障の治療活動を行っている地区やクラブもある。

青少年のために

地域の若い人々を育てたり支援したりする活動も積極的に行っている。ロータリーでは青少年に関する様々なプログラムがある。

▶ インターアクトクラブ (Interact Club)

12歳から18歳の学生を対象に、奉仕と国際理解に貢献する世界的友好精神の中で共に活動する機会を青少年に与えるために作られている。

▶ ロータリー青少年交換 (Rotary Youth Exchange)

国際理解と親善を促進することを目的として、15歳から19歳までの高校生を対象に、1学年度間、または休暇期間中に海外と交換交流する制度である。

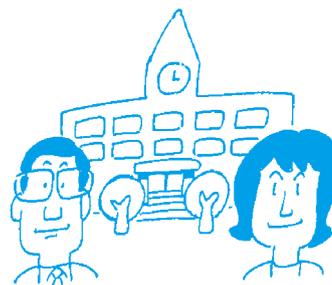
▶ ライラ (RYLA : Rotary Youth Leadership Awards)

(ロータリー青少年指導者養成プログラム)

若者の指導者育成および善良な市民としての資質を伸ばすことを目的としたプログラムである。年齢14歳以上の青少年を対象としている。

ロータリー学友 (Rotary Alumni)

ロータリー学友は、社会に貢献したいと願うリーダーの世界的ネットワークの一員で、以下のプログラムに参加した経験のある方は、ロータリーの「学友」である。インターアクト、ローターアクト、ロータリー青少年交換、ロータリー青少年指導者養成プログラム (RYLA)、ロータリー平和フェローシップ、グローバル補助金または地区補助金奨学生、職業研修チーム (VTT) (メンバーとリーダー)、新世代交換、以前のロータリー財団プログラム参加者 (例えば、国際親善奨学生、大学教員のための補助金、研究グループ交換 (GSE) (メンバーとリーダー)、ロータリーボランティア。なお、日本においては米山学友も含まれる。



(ロータリー章典40.050.1.)

ローターアクトクラブ (Rotaract Club)

ローターアクトクラブは、ロータリーの青少年プログラムから1947年に独立し、RI加盟が承認された。社会奉仕と国際奉仕を通じて行動し、指導力を学び、職業人としての能力開発に参加する若い成人 (18歳以上) の団体である。2022年度より個人頭分拠金も課せられていて、RI理事会は標準ローターアクト定款を定めている。なお、会員はローターアクターと呼ばれる。

(ロータリー章典第12条)

ニコニコ箱

例会場で会員が自由意思で善意の寄付金を入れる箱のことで、これらの寄付金はクラブの奉仕活動の原資となる。

クラブの例会場には、ニコニコ箱あるいは、スマイルボックスと呼ばれる受付が設けられている場合がある。これは会員の喜び事、祝い事あるいは、ちょっとしたしくじりなど、出来事や近況披露、お礼や感情表現など様々な理由付けの活用方法で、会員が自発的に拠金をするもので、別に何の規定も文献もあるわけではない。要するに、ニコニコ箱の名が示す通り、拠金する会員もニコニコしながら拠出し、集まったお金は、クラブの奉仕活動などに使用する。金額については、善意のお金なのでいくらでも良いのだが、喜びの大きいときは相当多額のニコニコもある。多くの人からいろいろの理由で何回も拠金してもらうのが、ニコニコ箱本来の姿と言える。

ただし、ニコニコ箱というのは世界的な慣例ではなく、日本にはあるが、世界中どここの国にもあるというものではない。

アメリカを始め諸外国にはニコニコ箱に類するものとしてFine BoxとChest Boxがあります。Fine Boxは罰金箱で、欠席、早退とかのペナルティを集める制度であり、Chest Boxは目的を定めた募金箱なので、目的を定めずに募金をする日本のニコニコ箱とは若干違う。

奉仕活動をするための資金集めは、会員の了解を得た上で目的を定めて、その目的のために帽子を回すのが諸外国のやり方のような。



例会出席とメイクアップ

1. 例会出席の大切さ

ロータリーでは毎週1回決まった曜日と時間に例会（2016年7月より毎月最低2回、またインターネット例会も可能となった。回数やその方法は各クラブ細則で規定できる）を開くが、例会の所要時間は日本では、概ね1時間である。

ロータリーではこの例会への出席を最も重要視し、その規則も非常に厳格にとらえている。従って入会前にこのことを十分ご承知の上で入会されたことと思うが、それでも最初のうちはこの厳しさに戸惑って、いつまで続くことかと不安に思われる方もあるかと思う。しかし、入会して暫くの間は我慢して時間のやりくりを試みよう。その内には必ず習慣となり、無理なく出席できるようになるだろう。

Q 旅行や出張先（海外含む）などで、例会を探すのはどうしたらいいのでしょうか？

A 国内の地区ホームページ、RIのホームページ等で探すことができますが、クラブによっては例会日や場所などが変更されることもありますので、あらかじめクラブに問い合わせることをお勧めします。

ロータリアンなら、いつ、どこのクラブの例会に出席しても歓迎されます。各クラブではビジター（メイクアップのために訪問する人のこと）を見込んで、席や食事の準備をしていますので、事前に電話などで連絡してから訪問した方が良いでしょう。初めて訪問するクラブの場合でも、相手が待っていてくださるので、心細い思いをすることもありません。



Q 例会場に着いたら何をしますか？

A 他クラブの例会に行ったら、ビジターは受付に行き「ビジターフィー」（訪問費）を支払い、名札を作ってもらいます。例会時の食事代が主なものです。ほとんどのクラブでは、一定の金額のビジターフィーが決まっていますが、クラブによっては、金額が3種類ぐらい決まっていて、その日の食事の内容で変わるところもあります。

受付を済ませると、クラブの担当者が席に案内してくれます。また、ニコニコ箱に寄付を入れるかどうかは、自由です。もちろん金額も自由です。でも、どのくらいの金額を入れればいいのか、迷ったり、悩んだりした場合には、受付の担当者や、案内の会員に、そつと聞いてみてください。同じロータリアン同士ですから、親切に教えてくださることと思います。訪問先のクラブ幹事からは「訪問ロータリアン報告用紙」（一般に「メイクアップカード」と言われます）に、メイクアップの旨が記入され、用紙はその場で手渡されたり、ホームクラブに送付されたりします。

2. メークアップ (Make-Up)

ロータリアンには例会に出席する義務がある。ホームクラブに出席できないときには、他のクラブの例会やロータリーのその他の会合（地区大会、インターシティーミーティング、その他の地区の会議など）に出席するメークアップ (Make-Up) という方法で、通常の例会欠席を補うことができる。

クラブ理事会承認のクラブの奉仕プロジェクト、クラブが提唱した地域社会の行事や会合、または選任された奉仕委員会の会合などに出席すること、さらに、クラブのウェブサイトを通じて、オンラインの会合または参加型活動に参加することによってメークアップができる。



3. 出席の免除 (Excused Absence)

理事会により承認された条件と事情による欠席の場合。理事会は、正当かつ十分な理由による会員の欠席を認める権限を持つ。このような出席規定の適用の免除は、最長12カ月間までとなる。ただし、健康上の理由あるいは子どもの誕生により12カ月間を超えて欠席となる場合は、理事会が改めて、当初の12カ月の後に、さらに一定期間の欠席を認める場合がある。

また、一つまたは複数のロータリークラブのロータリー歴と会員の年齢の合計が85年以上であり、一つまたは複数のクラブで少なくとも20年の会員歴があり、さらに出席規定の適用を免除されたい希望を、書面をもってクラブ幹事に通告し、これらの要件が満たされている場合に出席が免除される。ただし、出席に関する規則は、上記に拘わらず、クラブは細則でこれに従わない規定または要件を定めることができ、この細則の規定が優先される。
(クラブ運営の柔軟性)



クラブ運営の柔軟性と革新性

2016年の規定審議会は、例会の頻度と方法、出席要件、会員の種類についてロータリークラブの柔軟性をかつてないほど高める変更を採択した。これによって、入会者が集まりやすく、会員の参加が促され、新会員と現会員のモチベーションが高まることが期待される。

例会の頻度、形式、出席に関する柔軟性

例会の頻度、形式、出席に関して、クラブに以下の裁量を与えられている。

- 例会の曜日と時間を自由に決定する
- 必要に応じて例会を変更または中止する
- 奉仕プロジェクトまたは社交行事を「例会」とみなす
- 直接顔を合わせる例会、オンラインでの例会、その両方を交互に行う例会、あるいは両方の方法を同時に用いる例会（例：直接顔を合わせる例会にオンライン [ビデオチャットなど] で参加する）のいずれかを選ぶ
- 出席要件、または出席要件を満たさなかった会員の終結に関する方針を緩める（または厳しくする）

ただし、クラブは、少なくとも月に2回、何らかの方法で例会を行う限り、例会頻度を減らすことができる。例会や出席、クラブの構造、会員種類について変更を採用することをクラブが選択する場合、クラブ細則を修正する必要がある。一方で、これらの変更を加えないことを選択するクラブは、従来と同じ方法を維持することができる。

会員種類に関する柔軟性

RI細則と標準ロータリークラブ定款の規定では、「正会員」と「名誉会員」の2つの会員種類がある。クラブ細則を修正することにより、クラブは、地元のニーズに応じて新しい会員種類を追加できる（例：準会員、法人会員、家族会員など）。

- 追加の会員種類を設けるクラブは、これらの会員を「正会員」として国際ロータリーに報告されなければならない。また、これらの会員のRI人頭分担金が支払われるようにすることは、クラブの責任となる。

ローターアクターの二重会員身分

ロータリークラブ入会の資格を満たす現役ローターアクターは、ローターアクト会員であり続けると同時にロータリークラブに入会できる。

新しいクラブの種類・形式・モデル

柔軟性の導入によって、伝統的なクラブも独自性を発揮できる新しいクラブの設立や変更が次表の通り可能である。

クラブの種類・形式・モデル

奉仕と親睦といった価値観はすべてのロータリークラブとローターアクトクラブに共通しているが、各クラブが独自の趣向で活動することができる。新クラブをつくる際のクラブ種類、例会形式、モデルの一覧である。(2024年4月現在)

クラブの種類	内 容
ロータリークラブ (新クラブ設立時の最低会員数：20人)	奉仕、親睦、自己研鑽のために例会を開き、職業やほかの分野のリーダーが会員となっているクラブ
ローターアクトクラブ (新クラブ設立時の最低会員数：推奨12人)	効果的なリーダーとなり、地域社会の問題に取り組み、仲間と楽しみながら奉仕することに関心のある若い職業人と大学生
衛星クラブ (新クラブ設立時の最低会員数：RC8人、RAC4人)	ロータリークラブまたはローターアクトクラブの一部であり、独自の例会、プロジェクト、細則、理事会を有し、スポンサークラブとの協力の下で運営されるクラブ

例会形式	内 容
対面式	決まった場所で対面式の例会を行うクラブ
オンライン形式	主にオンラインで例会を行い、対面での奉仕活動の機会を提供するクラブ
対面式の例会とオンライン例会	対面式の例会とオンラインの両方の例会を開くクラブ、または対面式の例会を開き、全員がバーチャルで出席することを認めているクラブ

クラブのモデル	内 容
従来型クラブ	伝統的な例会（卓話や食事）を開き、会員が重んじる伝統的慣習を実践しているクラブ。会場費と食事費がかかるため、通常、クラブ会費が他よりも高額となる
パスポートクラブ	会員が自分の所属クラブで毎年一定数の例会に出席する限り、ほかのクラブの例会に頻繁に出席することを認めるクラブ
分野特化型クラブ	会員が特定の活動分野に情熱を注ぎ、その分野の奉仕活動に取り組んでいるクラブ
関心特化型クラブ	特定の関心や趣味に基づいて活動するクラブ
法人クラブ	会員（全員またはその大半）が同じ職場で働いているクラブ
学友中心クラブ	大半の会員（または大半の創立会員）がロータリープログラムの元参加者（学友）または元ローターアクターや元ロータリアンであるクラブ
奉仕中心クラブ	毎月少なくとも2回会って奉仕活動を行い、時には懇親会や募金活動を行うクラブ
言語特化型クラブ	例会が開かれる国の言語とは違う言語を共通語とするクラブ
国際的なクラブ	居住国とは異なる複数国出身の人が会員となっているクラブ

地区とは、管理の便宜上結びつけられた、一定の地理的な地域内にあるロータリークラブのグループである。ロータリー地区の活動ならびにその組織は、個々のロータリークラブがロータリーの目的を推進するのを助けることを唯一の目的とするものであり、ロータリークラブや個々のロータリアンが提供する奉仕を減殺することがあってはならない。



ガバナー (Governor)

ガバナーはRI理事会の一般的な指導、監督の下に職務を行う、その地区におけるRIの役員である。ガバナーは地区内のクラブに対する指導と監督を行い、ロータリーの目的を推進する任務を課せられている。また、ガバナーは、地区内のクラブを啓発し、意欲を与え、地区内の継続性を確保する。

(RI細則第16条)

副ガバナー (Vice Governor)

ガバナー指名委員会、またはガバナーエレクトは、一名のパートガバナーを副ガバナーに選出することができる。副ガバナーの役割は、ガバナーが一時的あるいは恒久的にガバナーとしての任務の続行が不可能となった場合に、ガバナーの後任となることである。(RI細則16.060.1.) 地区が通常のカバナー選挙のプロセスを用いて副ガバナーを選出するのが最も奨励されている方法である。

ガバナー補佐 (Assistant Governor)

ガバナー補佐はガバナーエレクトにより任命され、指定されたクラブの運営に関してガバナーを補佐する責務を担う。

(ロータリー章典17.030.1.)

地区委員会 (District Committees)

地区委員会は、ガバナー補佐の助言を得てガバナーが正式に設定した地区目標の実行を担うための組織である。委員会は以下のような現行の管理運営機能を受け持つために任命される。



- 財務、会員増強、公共イメージ、ロータリー財団、ラーニング (学習)
- 学友、社会奉仕、国際大会推進、地区大会、多様性・公平さ・インクルージョン (DEI)、インターアクト、国際奉仕、新世代交換、ローターアクト、ロータリー友情交換、ロータリー青少年指導者養成プログラム (RYLA)、青少年交換

ガバナーと地区リーダーチームが必要と認めた特別の任務を遂行する場合には、追加の地区委員会が任命される。

(2024年1月理事会会合、決定76号) (ロータリー章典17.030.2.)

地区の会合

地区大会 (District Conference)

「親睦と、感銘深い講演と、クラブおよび地区の業務に関する事項の討議を通じて、ロータリーのプログラムを推進するために、毎年、各地区で開かれる会合」である。全ロータリアンと家族が出席できる。一般的には、ガバナーの所属クラブがホスト（世話役）となって、ガバナーは立案、組織、実施の責任者となる。

(ロータリー章典20.010. ～ 20.040.)

地区研修・協議会 (District Training Assembly)

毎年1回、地区内全クラブの次期会長、幹事、委員長などの国際ロータリー (RI) 理事会が指名した、次期クラブ指導者が集まる知識・情報交換の場である。

国際協議会 (2月15日より前に開催されることになっている) の後で、国際大会の日程と重ならないような日を選んで、なるべく3月、4月、5月中に開催することになっている。 (ロータリー章典20.060.)

会長エレクト研修セミナー (PETS : Presidents-Elect Training Seminar)

ガバナーエレクトが、ガバナーと協力して実施する、次年度のクラブ会長全員ののための研修、教育プログラムのことである。ガバナー補佐、地区ラーニングファシリテーターも参加となる。このセミナーは毎年、なるべく2月、または3月中に行うようにと奨励されている。 (ロータリー章典20.070.)

都市連合会 (IM : Intercity Meeting)

IMはインターシティーミーティングの頭文字で、近隣都市の複数のクラブで実施する都市連合会のことである。近隣クラブが共通のテーマで語り合い、自己の輪を広げる意義は大きく、殆どのIMはフォーラムと懇親会がセットになったIGF [Intercity General Forum] 形式がとられているが、必ずしもこれにこだわる必要はなく、セミナーの形式がとられることもたびたびある。テーマはロータリーのこと、そして一般社会のことで、そのときに話題となっていること、考えなければならない問題点など、多岐にわたる。形式も講演、フォーラムなどいろいろある。

この会合の大切な目的は、会員相互の親睦と知識を広めることであって、さらに、会員にロータリー情報を伝え、立派なロータリアンの養成にある。そのため、経験豊かなリーダーの下で、ロータリーの奉仕理念を勉強する会合である。同時に、グループ内の会員の親睦も重要な目的であるから、懇親会も併せて開催される。

地区立法案検討会 (District Legislation Meetings)

地区大会または本会で、クラブが提案する制定案ならびに決議案を検討し、採択するための会合である。地区は、21日前までにすべてのクラブに通知した上で、ガバナーが決定した時と場所で地区立法案検討会を開催することができる。クラブの過半数が、具体的な案件を審議することを目的に地区立法案検討会を要請した場合、ガバナーは、その要請から8週間以内に検討会を招集しなければならない。

その他

地区チームラーニングセミナー (District Team Learning Seminar) (ロータリー章典20.080.)、地区クラブ活性化ワークショップ (District Vibrant Club Workshop) (ロータリー章典20.090.) などの会合がある。

- 国際ロータリー (RI) は全世界のロータリークラブおよびローターアクトクラブの連合体である：
- (a) ロータリーの目的を推進するようなプログラムや活動を追求しているクラブ、ローターアクトクラブ、地区を支援すること。
 - (b) 全世界にわたって、ロータリーを奨励し、助長し、拡大し、管理すること。

(RI 定款第 2 条 連合体とその目的)

ロータリーの目的は次の通りである。

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：

- 第 1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
- 第 2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；
- 第 3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること；
- 第 4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

(RI 定款第 3 条 目的)

RI 会長 (RI President)

会長は、RI の最高役員です。会長は、RI の第一の代表者であり、国際連会と RI 理事会の会合を主宰し、事務総長に助言し、そのほかの関連する任務を行う。

RI テーマ (RI Theme)

国際ロータリー (RI) のテーマとは、RI 会長が、毎年発表されるロータリー・メッセージのことである。このテーマは、ロータリー年度を通じて、奉仕の実践に最も重要なものである。テーマは、会長の抱負を端的に物語るとともに、そのロータリー年度の進路を示すものでもある。

(注) 2025-26年度より、RI テーマおよび会長イニシアチブは廃止される予定である。

国際ロータリーの主な会合

RI 理事会 (RI Board)

RI の管理主体として RI のすべての役員、委員会を統括管理し、ロータリーの目的推進のために必要な方法を講じ、また決定する。

国際協議会 (International Assembly)

ガバナーエレクトにロータリー教育を行い、運営上の任務を指導し、鼓舞奨励し、次年度のプログラムや活動の実施方法を討議・計画することを目的とする。

毎年、2月15日までに開催される。

規定審議会 (Council on Legislation : COL)

RI の立法機関として組織規定を改正する権限を有し、組織内から提出された制定案と RI 理事会のみが提案できる見解表明案について審議決定します。規定審議会は 3 年に一度招集されます。

制定案と見解表明案の提出期限は、規定審議会の開かれるロータリー年度の前年度の 12 月 31 日である。

(RI 定款 9 条 規定審議会、RI 細則第 7 条、9 条)

決議審議会 (Council on Resolutions : COR)

決議審議会は毎年開催されるものとし、電子的コミュニケーションを通じて招集され、組織内から提出された決議案は審議され決議審議会ですななくとも過半数の賛成で採択される。

尚、決議案の提出期限は開催年度の前年度6月30日迄である。

(RI 細則第8条 決議審議会、9条)

国際大会 (International Convention)

RI 国際大会は、会計年度の最後の3カ月間に、RI 理事会の決定する時と場所において開催される。主たる目的は、国際レベルにおいて全ロータリアンを鼓舞、激励し、かつ情報を与え、ロータリー発展の意欲を喚起するものである。

(RI 定款第8条 国際大会)

国際ロータリー事務局 (RI Secretariat) の構成

国際ロータリー世界本部

- ワン・ロータリー・センター (米国エバンストン)

国際事務局

- ヨーロッパ・アフリカ事務局 (スイス、チューリッヒ)
- 南アジア事務局 (インド、ニューデリー)
- ブラジル事務局 (サンパウロ)
- 日本事務局 (東京)
- 韓国事務局 (ソウル)
- 南太平洋およびフィリピン事務局 (オーストラリア、シドニー近郊のノーウェスト)



グレート・ブリテンおよびアイルランド (RIBI)

国際ロータリー本部は米国イリノイ州エバンストンに所在している。そのほか、世界各地に6つの国際事務局がある。ロータリー会員の支援にあたる総勢800人以上のスタッフがいる。グレートブリテンおよびアイルランドのロータリークラブは、グレートブリテンおよびアイルランド内国際ロータリー (RIBI) が担当しており、国際ロータリー世界本部やその他の国際事務局の管轄ではない。

グレート・ブリテンとアイルランドの国際ロータリー (RIBI) :

RI定款による決まった承認を前提に、国際ロータリーの独立したユニットとして機能している。

「研修」から「ラーニング」へ

RI理事会は、会員の「研修」から参加者中心の「ラーニング」へとロータリーの文化を転換する取り組みの一環として、役職名と行事名を下記のように変更した。

従来の名称	新しい名称
ガバナーエレクト研修セミナー (GETS)	ガバナーエレクト・ラーニングセミナー (GELS)
ガバナーノミニー研修セミナー (GNIS)	ガバナーノミニー・ラーニングセミナー (GNLS)
GETS 一般チームメンバー	GELS ファシリテーター
GETS チームリーダー	GELS チームリーダー
国際協議会ラーニングファシリテーター*	RI ラーニングファシリテーター
国際協議会セミナー研修者	国際協議会セミナーリーダー
審議会研修リーダー	規定審議会ラーニングリーダー
地区チーム研修セミナー	地区チームラーニングセミナー

* 2023・2024年で2回変更されている (2024年1月理事会会合、決定76号)

クラブ研修リーダー	クラブ・ラーニングファシリテーター
地区研修リーダー	地区ラーニングファシリテーター
地区研修委員会	地区ラーニング委員会
国際協議会研修リーダー	国際協議会ラーニングファシリテーター*
地域リーダー研修会	地域リーダーラーニングイベント

(2023年1月理事会会合、決定第86号)

- ▶ロータリー財団は、国際ロータリーの6人目の会長アーチ・クランプ氏の提唱で1917年に基金として発足し、1928年国際大会で「ロータリー財団」と名付けられた。
- ▶ロータリー財団は、「非営利財団法人」で、博愛、慈善、人道的かつ教育的目的をもつ効果的なプロジェクトに補助金を支給している。
- ▶ロータリー財団の正式名称は、「国際ロータリーのロータリー財団」である。
- ▶ロータリー財団の構成員は「国際ロータリー」唯一である。
- ▶RI会長がRI理事会の承認を得て、15名の管理委員を任命する。全業務は、管理委員会によって処理される。
- ▶RIの事務総長がロータリー財団の事務総長となる。
- ▶国際ロータリーとロータリー財団は一体である。



ロータリー財団の使命

ロータリー財団の使命は、ロータリー会員が、人びとの健康状態を改善し、質の高い教育を提供し、環境保護に取り組み、貧困をなくすことを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることである。

(手続要覧、ロータリー財団章典10.020.)

ロータリー財団の標語

『世界でよいことをしよう (Doing good in the world)』

奉仕活動と資金調達は車の両輪

- 人類は一つです。世界中の貧困や飢餓が減少し、社会が向上し、世界が平和にならない限り、私たちの真の平和はありえない。
- 私たちのロータリー財団が地域社会や国際社会への奉仕をさらに強化増大していくためには、奉仕活動の充実と資金面の援助が大変重要になる。

ロータリー財団への寄付

ロータリー財団は非営利財団で、ロータリアンをはじめ、より良い世界を築こうというビジョンを共有する財団支援者の方々からの自発的な寄付のみによって支えられている。



Every Rotarian, Every Year (EREY) という合言葉「毎年すべてのロータリアンが年次基金へ寄付をすることでロータリー財団の活動に参加しましょう！」…という寄付による参加を呼びかけるメッセージの下、年次基金への寄付は、7大陸にある160以上の国や地域で行われている財団プログラムの主要な資金源となっている。アフリカの農村に井戸を掘ることから、ラテンアメリカの子供たちに読み書きを教えることまで、世界中のロータリアンは、自らの時間と専門知識を捧げて懸命にボランティア活動にあたっている。年次基金への寄付はすべて、質の高いロータリアンのプロジェクトの支援に有効に活用されている。

Every Rotarian, Every Year (EREY) を通じて毎年1,000ドルを寄付した人は、自動的に「財団の友」会員となる。

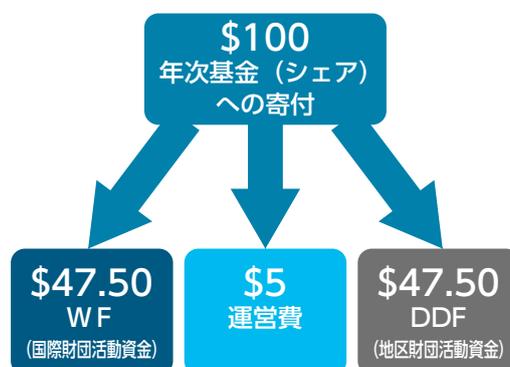
1,000ドル以上を寄付した人は、ポール・ハリス フェロウ (財団表彰) となる。

1. 年次基金 (税制上の優遇措置を受けられる)

年次基金は、寄付の基盤であり、この寄付は使い道を指定することなく、ロータリー財団に寄付するもので、3年後に全部使われる。年次基金は、シェアシステムに基づきDDF (地区財団活動資金) と WF (国際財団活動資金) の活動資金および運営費に分けられる。その配分 (2024-25 年度より) は、DDF が 47.5%、WF が 47.5%、そして財団の運営費を賄うために財団の運営費として 5% に分けられる。

シェアシステム

(2021年7月1日より有効)



2. 恒久基金 (税制上の優遇措置を受けられる)

最低限度のプログラム活動を継続し、将来の新プログラムまたはプログラムの拡張を容易にするために、寄付金は使用せず基金として積み立てておくものである。収益のみが3年後に使用され、恒久基金に少なくとも米貨1,000ドルを寄付した人はベネファクターの認証を受けられる。

3. ポリオプラス基金・その他指定プロジェクト基金

あらかじめ使い道を決めて金額を問わず、財団プログラムを指定して寄付するものである。(地区のシェアシステムの対象とならない) ポリオプラスがその代表的例である。

ロータリー財団のプログラム

財団への寄付金を資金とするプログラムは次の4つとなっています。
地区補助金、グローバル補助金、ポリオプラス、ロータリー平和センター

● 地区補助金

ロータリー財団の使命に関連があり、使命を守るものであること。ロータリーにふさわしいものであれば、地区活動資金（DDF）の50%以内で国内、海外プロジェクトの種類に制約がなく資金として使える。18カ月以内に完了するプロジェクトまたは活動であることが望ましい。

● グローバル補助金

2カ国以上のクラブや地区が重点分野に関するプロジェクト（人道的奉仕、職業研修チーム（VTT）や奨学金）を共同提唱し、立案、実施する国際プロジェクトに授与される。これらは実施地の地域社会が主導し、その成果が持続可能、測定可能なものでなければならない。国際財団活動資金（WF）はDDFに対して80%（ポリオプラスに対しては50%）交付されるが、現金拠出にはなくなった。ただし、補助金は、予算額が3万米ドル以上の事業に適応され、10万米ドル以上は管理委員会の承認が必要となる。人道的プロジェクト専用の場合、グローバル補助金の拠出総額のうち少なくとも15%がプロジェクト実施国以外から寄せなければならない。

<7つの重点分野>

1. 平和構築と紛争予防
2. 疾病予防と治療
3. 水と衛生
4. 母子の健康
5. 基本的教育と識字率の向上
6. 地域社会の経済発展
7. 環境

詳しくは、重点分野の基本方針を参照のこと。

<https://my.rotary.org/ja/document/area-focus-policy-statements>

● ポリオプラス〈ポリオ根絶はロータリーの最優先課題〉

ポリオ（急性灰白髄炎）は非常に感染力の高い病気であり、特に感染しやすいのは5歳未満の子どもである。ロータリーでは、ポリオの根絶は、1979年フィリピンでの予防接種に始まり長年にわたってロータリー会員が力を注いでいる活動で、1985年には125カ国に35万人以上の感染が確認されていたが、ポリオプラス・プログラムを開始し、1988年世界ポリオ根絶推進活動（GPEI）のパートナー組織とともに、私たちは122カ国、世界約30億人以上の子どもにポリオ予防接種を行ってきた。ロータリーはポリオ根絶を組織の最優先項目とし、感染者数は99.9%減少した。しかし、再流行が起きた場合、今後10年間に、毎年20万人以上の子どもがポリオによる身体まひの犠牲になると推定されている。1988年以来ロータリーとパートナーが投入した資金は25億ドル（2023年6月）を超えた。

今後、ポリオ根絶に必要な15億ドルの資金を確保することが課題とされている。ロータリーは2017年アトランタ国際大会で3年間で1億5千万ドル、ビル&メリング・ゲイツ財団とのマッチングと合せて4億5千万ドルとなる約束をした。2020年1月22日、更に2023年1月、引き続きこの長期パートナーシップが3年間継続することが発表された。

● ロータリー平和センター

世界平和と紛争予防の担い手となる人材（過去1700人以上）を育て、平和推進者の世界的ネットワークを築いている。毎年、世界中から選ばれる最高130人（現在の定員）のフェローが、ロータリー平和センター提携大学（世界で平和センターは7つ、8大学がある）で学ぶ。フェローシップには、授業料・入学金の全額、滞在費（宿舍・食費）、往復航空券、インターンシップと実地体験の費用が含まれている。

国際関係、平和研究、紛争解決や関連分野での修士号取得、または専門能力開発修了証取得のためにロータリー平和センターで学ぶ。この修了証取得コースの期間は1カ年間である。

ロータリー財団への寄付と認証

● 寄付

種 類	年次基金寄付	ポリオプラス基金・その他	恒久基金寄付
概 要	毎年続けるということ で、財団プログラムを存 続させるための資金源で 3年後のプログラムに使 われる。	あらかじめ使い道を決め て寄付するもの。 ポリオプラス、ポリオ・ プラス・パートナー、ロー タリー平和センター、グ ローバル補助金の提唱者 側の寄付等。	最低限度のプログラム活 動の継続や、将来の新プ ログラムやプログラム拡 張に使われる。投資収益 のみ使う。

● 個人に対する認証

認 証	寄 付	年次基金寄付	ポリオプラス 基金・その他	恒久基金寄付	遺贈友の会
財 団 の 友		毎年100ドル以上 (現金)			
ポール・ハリス・ ソサエティ		毎年1,000ドル以上 (現金)			
ポール・ハリス・ フェロー (PHF)		累計1,000ドル以上 (現金+認証ポイント)			
マルチプル・ポール・ ハリス・フェロー (MPHF)		累計2,000ドル以上～ 9,000ドル以上迄 (1,000ドル毎に8段階)			
ベネファクター (Benefactor)				1,000ドル以上 (現金)	
大口寄付者 (メジャー・ドナー) (MD)		累計10,000ドル以上 (現金) (レベル1～4迄)			
アーチ・クランフ・ ソサエティ (AKS)		累計250,000ドル以上 (現金) (管理委員会サークル・管理委員長サークル・ 財団サークルの3つのレベル：全6種類)			
大口寄付者 (遺贈の寄付)					遺贈10,000ドル以上 (レベル1から6迄)
ロータリー財団 レガシーソサエティ	2019年7月1日より、ロータリー財団レガシーソサエティが設立された。 このソサエティは、ロータリーの恒久基金に対し、合計で100万ドルの 誓約を行った個人またはご夫妻が対象となる。 遺贈友の会レベル7より併せてレガシーソサエティの会員となる。 管理委員会決定 (2018年10月)				
ポリオプラス・ ソサエティ (PPS)	あと少しとなったポリオ根絶までの活動資金の安定と増加にご協力いた だくための「ポリオプラス」へ毎年100米ドルの寄付をお約束いただい た方。 管理委員会決定 (2022年10月)				

(注) 認証品 (襟ピン、ペンダント、認証状等) は割愛する。

● クラブに対する認証

認 証	概 要
「Every Rotarian, Every Year」クラブ (Every Rotarian, Every Year Club)	一年度中に正会員全員 ¹ が、年次基金へ少なくとも25ドルの寄付をして、一人当たりの年次基金平均寄付額が100ドルに達しているクラブに贈られる。(認証を受けるための手続きは不要)
100%ロータリー財団寄付クラブ (100% Foundation Giving Club)	一年度中に正会員全員が、寄付分類に関わらず少なくとも25ドルの寄付をして、一人当たりの平均寄付額 ² が100ドルに達しているクラブに贈られる。(認証を受けるための手続きは不要)
100%ポール・ハリス・ソサエティ・クラブ (100% Paul Harris Society Club)	一年度中に正会員全員が、一括でも合計でも1年度中に1,000ドル以上を寄付したクラブに贈られる。対象となる寄付分類は、年次基金／ポリオプラス／承認された財団補助金である。(認証を受けるための手続きは不要)
年次基金への一人当たりの寄付額上位3クラブ (Top Three Per Capita in Annual Fund Giving)	地区内で、一年度中に一人当たりの年次基金への平均寄付額が上位3位に入ったクラブに贈られる。ただし、クラブは一人当たりの年次基金への平均寄付額が最低50ドルに達していなければならない。(認証を受けるための手続きは不要)
100%ポール・ハリス・フェロー・クラブ (100% Paul Harris Fellow Club)	クラブの正会員全員がポール・ハリス・フェローになっているクラブに贈られる。(一度限り) (認証を受けるための手続きは不要)
Rotary's Promise クラブ (Rotary's Promise Club)	クラブの正会員全員が恒久基金に寄付したクラブに感謝状(電子ファイル)が贈られる。こちらはリクエストをいただいたクラブに対して贈られ、遺言によるロータリー財団への遺贈・誓約、または恒久基金への1,000ドル以上の現金寄付がこの表彰の対象となる。(一度限り)
End Polio Now 感謝状 (End Polio Now: Countdown to History Campaign Certificate of Appreciation)	ポリオプラスへ1,500ドル以上を寄付したクラブに贈られる感謝状である。(認証を受けるための手続きは不要)
ローターアクト寄付達成証 (Rotaract Giving Certificate)	一年度中にクラブまたは個人がロータリー財団に寄付し、それらの合計が100ドルに達したローターアクトクラブに贈られる感謝状(電子ファイル)である。ローターアクターとして登録されていることを確認し、手続きすること。

1. 正会員全員：6月30日に退会する会員を含む。ただし、年度中に入退会者は含まない。
2. 「一人当たりの平均寄付額」は、年度初め(7月1日)の会員数を基に計算する。この計算に使う寄付額には、年度途中の退会者、新入会員または法人からの寄付も含まれる。

● 地区に対する認証

認 証	概 要
恒久基金への寄付	<ul style="list-style-type: none"> • ベネファクターの数を報告したり、地区の傑出した活動が認められた場合、財団管理委員長からガバナーに感謝状が贈られる。 • 25,000ドル未満の恒久基金寄付の収益は地区レベルでシェアシステムの対象となる。

免税措置について

公益財団法人ロータリー財団への個人と法人からの寄付は、公益目的事業を支援するために支出された「特定公益増進法人」への寄付金として取り扱われ、税制上の優遇措置の対象となる。個人の寄付に対する優遇措置は「所得控除」または「税額控除」のいずれかを選択することができる。





勉学または研究のために来日し、わが国の正規の学校または研究機関に在籍する外国人留学生に対して奨学金を支給し、彼らの留学の目的を支援するとともに、ロータリーの理想とする国際理解と親善に寄与することを目的とする。

〈事業内容〉 奨学金の支給／世話クラブとカウンセラー制度／ロータリアンと留学生との交流／国内外での学友会活動

ロータリー米山記念奨学会の歴史

平和を愛し、青少年に手をさしのべた“日本のロータリーの父”米山梅吉氏の遺徳を記念する事業として、1952年、東京ロータリークラブは日本で学ぶ外国人留学生を支援する国際奨学事業を始めた。やがてそれは、日本全国のロータリークラブの共同事業として発展し、1967年に文部省（現・文部科学省）を主務官庁とする（財）ロータリー米山記念奨学会が設立され、2012年1月に公益財団法人に移した。世界に類を見ない日本独自の多地区合同活動となっている。

2022年7月に財団法人として創立55周年を迎えた。

ロータリー米山記念奨学金

ロータリー米山記念奨学金は、（財）ロータリー米山記念奨学会が行う国際奨学事業である。これは、ロータリー財団の奨学金や政府奨学金のように学費や生活費のすべてを保証するものではなく、私費留学の費用の一部を補助する趣旨のものである。米山奨学金の対象は、世界のすべての国や地域から日本に留学している学生となっている。各地区の米山記念奨学委員会が指定校を定め、推薦された学生を面接選考して合格者を決定する。

2023学年度の奨学生数は900人、事業費は14億4,000万円（2022-23年度決算）と、国内では民間最大の国際奨学事業となっている。これまでに支援してきた奨学生数は、累計で23,509人（2023年7月現在）。その出身国は、世界131の国と地域に及ぶ。

（2023-24年度ロータリー米山記念奨学事業豆辞典より）

世話クラブ・カウンセラー制度

奨学金による経済的援助だけでなく、「世話クラブ・カウンセラー制度」を設けて、ロータリーとの深い交流と精神的ケアを重視しているのが特長である。

奨学生一人ひとりに、地域のロータリークラブから世話クラブが選ばれ、さらにその会員の中からカウンセラーが付いて、奨学生との交流を深め、彼らの日本での生活が心豊かなものになるように配慮している。

公益財団法人 米山梅吉記念館

米山梅吉氏の遺徳を偲び、その偉業を検証することを目的に、1969年に開館、日本のロータリーの歩みや文献資料を備えている。（静岡県駿東郡長泉町）



奨学会に対する寄付金

(豆辞典2023-24年度版より)

普通寄付金

安定財源として、各クラブが決定した金額を会員数分、毎年全クラブから納入いただいている。

(2022年度平均：4,884円)

特別寄付金

個人・法人・クラブからの任意寄付。金額に決まりはなく、ロータリアン以外の方からもお受けする。

(2022年度平均：12,076円)

寄付に対する表彰制度

個人寄付への表彰 (対象：特別寄付金)

累計額	表彰名	表彰品
3万円	準米山功労者	なし
10万円	第1回米山功労者	感謝状
20万～90万円	(以降10万円毎に) 第2回～第9回 米山功労者マルチプル	感謝状+50万円のみ ピンバッジ (銀)
100万～390万円	第10回～ 米山功労者	感謝状+100万円毎に ピンバッジ (金)
400万～	メジャードナー	感謝状+100万円毎に クリスタル盾

※ 累計10万円以上は10万円ごとに感謝状を贈呈する。加えて、累計50万円で銀色のピンバッジ (2023年度より新設)、100万円以降は100万円ごとに金の金バッジ (400万円以上はクリスタルの盾) が贈られる。

法人寄付への表彰 (対象：特別寄付金)

累計額	表彰名	表彰品
5万円	準米山功労法人	なし
50万円	米山功労法人	感謝状
100万円～	(以降100万円毎に) 米山特別功労法人	感謝状と盾

クラブへの表彰

累計額	表彰名	表彰品
100万円毎	米山功労クラブ	感謝状
1,000万円毎	達成クラブ	感謝状
—	クラブ創立記念特別寄付	盾 (10万円以上の場合)

※ 「米山功労クラブ」はクラブ扱い・個人・法人すべての特別寄付金が対象

※ 「達成クラブ」は普通寄付金・特別寄付金の合計金額が対象

免税措置について

ロータリー米山記念奨学会は、内閣府より「公益財団法人」の認定を受けているため、当会への寄付金には、所得税 (個人)、法人税 (法人) の税制優遇が受けられる。また、相続税も非課税となる。

2012年1月以降の寄付金から、従来の「所得控除」に加えて「税額控除」のどちらか有利な方式を選択できるようになった。

7月

母子の
健康月間

1月

職業奉仕月間



8月

会員増強・
新クラブ結成
推進月間

2月

平和構築と紛争予防月間
ロータリー創立記念日(2月23日)
世界理解と平和の日(2月23日)

9月

基本的教育と
識字率向上月間
ロータリーの友月間

3月

水と衛生月間
世界ローターアクト週間
(3月13日を含む週)

10月

米山月間
地域社会の経済発展月間
学友参加推進週間(10月7日を含む週)

4月

環境月間



11月

ロータリー財団月間
世界インターアクト週間
(11月5日を含む1週間)

5月

青少年奉仕
月間

12月

疾病予防と
治療月間

6月

ロータリー親睦
活動月間

(注)9月・ロータリーの友月間、10月・米山月間は日本独自の特別月間である。

出版物のお知らせ

No.	冊子名	協力金(1冊)
①	ロータリーへのお誘い(会員増強・新会員候補者様用) (2023年10月発行 第14版) A4判・表紙カラー 中面2色・8頁	150円
②	今日からロータリアン(新会員オリエンテーション用) (2024年7月発行 第20版) A4判・表紙カラー 中面2色・40頁	400円
③	これだけは知っておきたい「ロータリーの基礎」 (2023年10月発行 第13版) A4判・表紙カラー 中面2色・112頁	700円
④	ロータリー財団ハンドブック(財団研修用のための全般情報) (2024年7月発行 第6版) A4判・表紙カラー 中面2色・184頁	1,800円
⑤	ロータリー情報ハンドブック(用語とロータリー資料集) 2023年 (2023年2月発行 改訂第4版) A4判・2色・116頁	3,500円

- 冊子のご注文は、申込・注文書を当会(事務局)宛にお送りください。
- 協力金・送料は前納制(送金先および送料:送金案内を参照)であります。
- 冊子①～③は、随時改訂版を発行し、冊子④～⑤は原則的に3年毎に数量限定で発行します。

お問い合わせ お申し込み

情報研究会

<https://www.rotaryinformationgroup.jp>

<https://www.facebook.com/informationgroup.jp>

(事務所) 〒639-0226 奈良県香芝市五位堂4-250

Eメール: info@rotaryinformationgroup.jp

TEL: 050-1092-2634 (直通)

代表/杉田 博 (日本ロータリーEクラブ 2650 所属)

※お申込み・注文時は、当会ウェブサイトにある注文用紙(Excel ファイル)をダウンロードしてEメールに添付送信してください。

参考文献

- RI Webサイト:
<http://www.rotary.org/>
- ロータリーの友:
<http://www.rotary.or.jp/>
- ロータリー米山記念奨学会:
<http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>
- 源流の会: RI2680地区 田中 毅PDG
<http://www.genryu.org/>
- ロータリー章典(2024年4月版)
- ロータリー財団章典(2024年4月版)
- 手続要覧(2022年版)
- RI理事会、管理委員会議事録(2024年1月迄)、RIウェブサイト等

本書の記述とそれに含まれる情報は情報研究会が単独で責任を負います。
国際ロータリー、ロータリークラブおよびローターアクトクラブは一切関与しておりません。

誰もが初めから立派な
ロータリアンではない

新会員のあなたは
「ロータリーを学び」

そして
「ロータリーで学ぶ」

ロータリーの10徳

- 1 交流関係が広がる
- 2 常識が広がる
- 3 行儀がよくなる
- 4 朗らかになる
- 5 社交的になる
- 6 顔に品がでてくる
- 7 几帳面になる
- 8 話題が豊富になる
- 9 健康になる
- 10 家族が喜ぶ

今日からロータリアン

2024年（令和6年）7月発行
改訂第20版

発行・編集 情報研究会

ホームページ：<https://www.rotaryinformationgroup.jp>

お問合せ：info@rotaryinformationgroup.jp